

【日 時】 平成 26 年 4 月 1 5 日

【訪問先】 富岡中学校 三嶽昌幸校長

【概 要】 児童数 8 1 2 名 2 2 学級 各学年 6 ー 8 学級 特別支援学級 3 組 教員 4 3 名 職員 3 名

## 【視察報告】

### 1. 校長先生のモットー

『やればできる』行動を起こせば何か生まれる。人はひとりでは生きていけないし、誰かとコミュニケーションを取ることによって何か動き出す。努力は裏切らないということ。

### 2. 英語・国際教育の取り組み

県の研究会での発表をするなど英語教育には力を入れている。常駐の AET は五年目のベテランで子供とのかかわりもうまい。外国籍の生徒は 3 人いるが、言語的な不自由はなく、困難もなく、特に配慮もしていない。

### 3. 地域のボランティアの協力

部活が盛んなので地域との交流はおろそかになりがち。近隣 4 町内合同のお祭りには剣道部が参加。地域のイベントには吹奏楽部は積極的に参加している。学校運営協議会がうまく機能している。隣の公園のグラウンドは平日の放課後などには部活で使わせてもらっている。陶芸の釜は月に一回地域に開放している。

### 4. 地域との防災の取り組み

大震災の際には在校時であれば生徒は学校に待機、保護者の迎えによって帰宅。隣接の富岡西小学校・能見台北公園は広域避難場所で、大規模な防災訓練なども行っている。

### 5. 道徳教育や郷土愛を育む取り組み

各学年で道徳教育に取り組んでいる。コミュニケーション能力の向上、相手を思いやる心、自分を大切にすること、一人ひとりを尊重する、といったことを教育している。学校周辺は一戸建ての住宅街で学区内にはしっかりした家庭が多いが、子供たちの自立を促していきたい。

### 6. 体力強化や部活動の取り組み

部活動への加入率は 85% と高く (市内平均 70%) 部活に熱心な先生が多い。朝練・放課後・土日も部活。陸上競技部は伝統的に強い。

### 7. 学校組織の強化・人材育成

早期発見・早期対応・早期解決でいじめには対応している。人を大切にする学級づくり、学年づくりを徹底させることで、学校全体の結束力を高めている。部活に力を入れ、優秀な生徒やチームを称えることで愛校心に繋げている。

### 8. その他

キャリア教育を通じて学ぶのは職業観ではなく人生観だと思う。保健の授業で親となり家庭を持つことの大切さや意義を教える。

## 【所 感】

教育委員会の指導主事から校長という学校現場に戻ってきて三嶽校長先生は、キャリアを生かして学校経営をしっかりとやっているという意気込みが感じられた。放課後に訪問したが、校庭だけでなく校内の様々な場所、隣接の公園の起伏などを活用して部活動の練習が行われていて、蛇蝎に力を入れていることがよく分かった。

